

環境経営レポート

2019年度(2019年7月～2020年6月)



2020年8月25日作成



“次の世代に美しい自然を”

株式会社 建総

環境経営方針

環境理念

“次の世代に美しい自然を”残すために私たち株式会社建総は全社員をあげて地球環境保全に貢献し、『自然環境は次の世代からの預り物』と捉え心やすらげる美しい自然環境創りを実践し快適生活をトータルにサポートする地域必要企業を目指します。

環境行動方針

株式会社建総は、地球環境規模で物を考え私たちの業務の、水処理、廃棄物の運搬、下水道・側溝の清掃及び修繕工事を通じて、これに伴う法規制を遵守しながら、環境マネジメントシステムを構築運用し、環境保全、環境汚染の防止及び継続的改善に取り組みます。

1. 営業を強化し、浄化槽の保守点検をされていない住民の方に1件でも多く契約して頂き、よりきれいな排水を放流することにより河川をきれいにし、富栄養化を阻止します。
2. 下水道管路施設は、過酷な条件下で使用され続けるため、やがて破損に至りますが、下水道修繕工事を行うことで、施設の寿命延長に貢献します。
3. 廃棄物収集運搬においてよりいっそうの分別を啓蒙し、リユース、リサイクルの徹底により廃棄物排出量の削減に努めます。
4. 節水等により水使用量の削減に努めます。
5. 二酸化炭素排出量削減のため、車両の燃費向上と電気使用量削減に努めます。
6. グリーン購入の推進に努めます。
7. 化学物質の管理に努めます。

環境方針は全従業員に周知し、公表します。

2020年7月1日 制定

株式会社 建総

代表取締役 安部 拓哉

1. 会社の概要

法人設立年月日	昭和 50 年 7 月 9 日	
資本金	2,000 万円	
売上高	2019 年度	603 百万円 (2019 年 7 月～2020 年 6 月)
事業所名	株式会社 建総	
代表者名	安部 拓哉	
所在地	千葉県市川市原木 3-18-9	
環境管理責任者氏名	岩切博	
担当者連絡先	(電話)	047-328-8333
	(FAX)	047-328-8338
事業活動の内容	1) 浄化槽保守点検・清掃業・工事業 2) 貯水槽清掃業 3) 産業廃棄物収集運搬業 4) 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ・汚泥、特定家庭用機器再商品化法対象物) 5) 下水道管渠カメラ調査・清掃、 6) 補修工事、しゅんせつ業 7) 側溝・排水管清掃業	

2. 事業規模

	2018 年度	2019 年度
従業員(人)	43	44
本社床面積(m ²)	164.71	164.71

2-1. 収集運搬業

<収集運搬車両の種類と台数>

4 トンパッカー車	5 台
3 トンパッカー車	1 台
2 トンパッカー車	6 台
4 トンアーム車	2 台
3 トンアーム車	1 台
2 トン平ボディ車	1 台
バキューム車	6 台
2 t ダンプ車	2 台
4 t プレス車	1 台



2-2. 下水道管渠カメラ調査・補修・しゅんせつ、側溝等清掃業

<下水道管渠カメラ調査・清掃、しゅんせつ、補修工事、側溝等清掃の車両と台数>

TVカメラ車	2台
内面補修車	1台
10トダンパー車	2台
5トダンパー車	1台
4トダンパー車	1台
高压洗浄車	2台
給水車	1台
ユニックダンプ車	1台

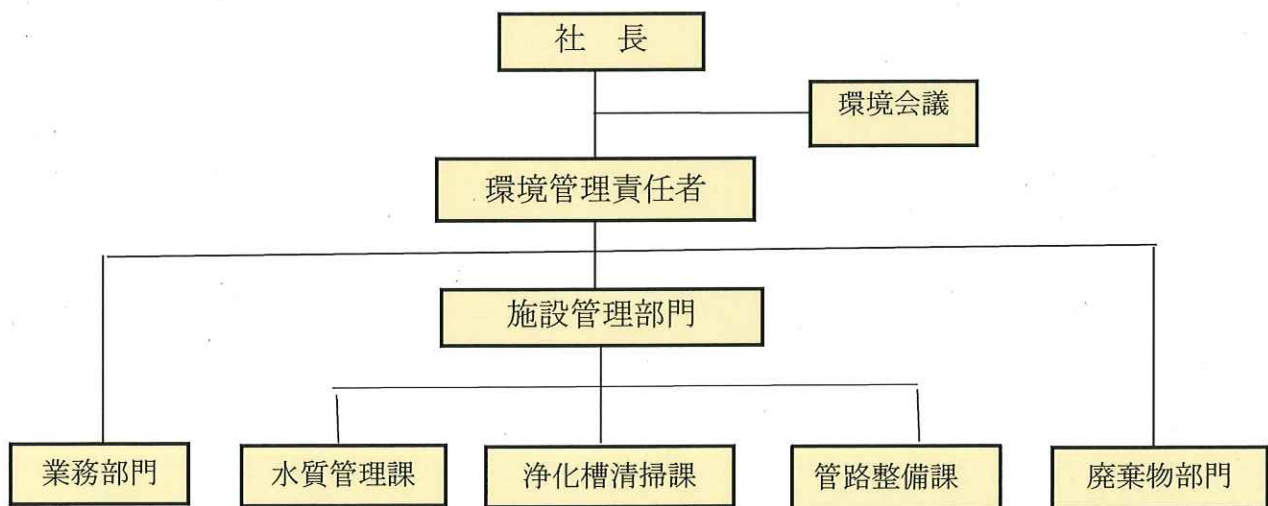


内面補修 | 洗浄 → TVカメラ調査 → 内面補修・硬化管理

3. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録事業者	株式会社建総	千葉県市川市原木 3-18-9
認証登録番号	0002162	
認証登録日	2008年2月8日	
対象事業所	本社	
対象活動範囲	浄化槽保守点検・清掃業・工事業、貯水槽清掃業、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業 下水道管渠カメラ調査・清掃、側溝・排水管清掃、しゅんせつ、補修工事業	

4. 環境管理組織図



役割・責任・権限

社長	環境経営システムの実施に必要な人、設備、金等の提供 環境管理責任者の任命 文書・記録類の承認 代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連文書・記録類の作成、確認 環境活動の結果を代表者へ報告
環境会議	環境活動結果の審議、コミュニケーション
部門	自部門に係る環境活動計画の実施と報告 教育訓練・緊急事態訓練の実施

5. 許認可一覧

＜産業廃棄物の収集運搬の許可の内容＞

都道府県	積替 保管	許可番号	許可取得年月日 有効期限年月日	許可品目
千葉県	無	01200042280	平成 28 年 11 月 10 日 平成 33 年 9 月 16 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類⑤、金属くず①、陶磁器 くず・ガラス・コンクリートくず⑤、 鉱さい、がれき類②、ばいじん、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
東京都	無	13-00-042280	平成 28 年 9 月 13 日 平成 33 年 9 月 12 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、金属くず、陶磁器 くず・ガラス・コンクリートくず、 鉱さい、がれき類、ばいじん、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
栃木県	無	00900042280	平成 31 年 3 月 31 日 平成 36 年 3 月 30 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、金属くず、陶磁器 くず・ガラス・コンクリートくず、 鉱さい、がれき類、ばいじん、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
神奈川県	無	01403042280	平成 31 年 3 月 18 日 平成 36 年 1 月 26 日	燃え殻⑥、汚泥⑥⑦、廃油⑥、廃酸⑥⑦、 廃アルカリ⑥⑦、廃プラスチック類②⑥、 金属くず⑥、陶磁器くず・ガラス・コンク リートくず②⑥、鉱さい⑦、がれき類②、 ばいじん⑦、紙くず、木くず、繊維くず、 動植物性残さ
埼玉県	無	01105044280	平成 31 年 3 月 15 日 平成 36 年 2 月 29 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類②⑥、金属くず⑥、 陶磁器くず・ガラス・コンクリートくず② ⑥、鉱さい、がれき類②、ばいじん、 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ
茨城県	無	00801044280	令和元年 5 月 27 日 令和 6 年 3 月 29 日	燃え殻⑧、汚泥⑨、廃油⑥、廃酸⑨、 廃アルカリ⑨、廃プラスチック類③⑥、 金属くず①⑥、陶磁器くず・ガラス・ コンクリートくず③⑥、鉱さい⑧、 がれき類④、ばいじん⑧、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ

(注) ① 自動車等破砕物を除く

- ② 石綿含有産業廃棄物を含む
- ③ 自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く
- ④ 石綿含有産業廃棄物を除く。
- ⑤ 自動車等破砕物を除く、石綿含有産業廃棄物を含む
- ⑥ 水銀使用製品産業廃棄物を含む
- ⑦ 水銀含有ばいじん等を含む
- ⑧ 水銀含有ばいじん等を除く
- ⑨ 水銀使用製品を含み、水銀含有ばいじん等を除く

<一般廃棄物の収集運搬の許可の内容>

市町村	許可番号	許可取得年月日	有効期限	取扱廃棄物の種類
市川市	第 107 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日	一般廃棄物 (ごみ・浄化槽汚泥等)

<特例浄化槽工事業届出の内容>

都道府県	届出番号	届出年月日
千葉県	千葉県知事(届-24)第 1605 号	平成 25 年 9 月 11 日

浄化槽法第 33 条第 2 項により特例浄化槽工事業者として届出

<浄化槽清掃業の許可の内容>

市町村	許可番号	許可取得年月日	有効期限
市川市	市川市第 7 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

<浄化槽保守点検業者の登録の内容>

都道府県・市	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県知事(登 10)葛地振第 13 号	平成 29 年 3 月 15 日	平成 34 年 3 月 14 日
船橋市	船橋市長(登 4)第 82 号	平成 29 年 3 月 15 日	平成 34 年 3 月 14 日
千葉市	千葉市長(登 10)第 99 号	平成 29 年 3 月 15 日	平成 34 年 3 月 14 日
柏市	柏市(登 2)第 85 号	平成 29 年 3 月 15 日	平成 34 年 3 月 14 日

<建設業の許可の内容>

千葉県 建設業の許可	
許可番号	千葉県知事 許可(般-30)第 4 1 1 4 2 号
許可期間	平成 30 年 7 月 29 日～平成 35 年 7 月 28 日
建設業の種類	土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

<建築物排水管清掃業の登録の内容>

都道府県	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県 市川保 2 7 排第 1 号	平成 28 年 1 月 7 日	平成 34 年 1 月 6 日

<建築物飲料水貯水槽清掃業の登録の内容>

都道府県	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県 市川保 2 9 貯第 9 号	平成 30 年 4 月 6 日	平成 35 年 4 月 5 日

<排水設備工事業者の指定の内容>

市町村	指定番号	許可取得年月日	有効期限
千葉市	指定第 7 4 3 号	平成 30 年 4 月 1 日	平成 35 年 3 月 31 日

<一般貨物自動車運送事業の許可の内容>

許可	許可番号	許可日	営業区域
関東運輸局	関自貨第 756 号	平成 14 年 11 月 7 日	千葉県

<資格者一覧>

1 級土木施工管理技士	2 名	下水道管路管理技士 (主任技士)	1 名
2 級土木施工管理技士	8 名	下水道管路管理技士 (清掃)	5 名
2 級管工事施工管理技士	3 名	下水道管路管理技士 (調査)	4 名
2 級建築施工管理技士	1 名	下水道管路管理技士 (修・改)	3 名
浄化槽管理士	12 名	下水道管理技術認定試験 (管路施設)	1 名
浄化槽技術管理士	4 名	建設業経理士検定試験(2 級)	1 名
浄化槽設備士	1 名	FRP 内面補修工法施行技能士	2 名
危険物乙 4 種	1 名	FFT.S 工法施工管理者	3 名
給水装置工事主任	2 名	ASS 工法技術者	1 名
排水設備工事責任技術者	1 名	足場組立等作業主任者	1 名
運行管理者	2 名	有機溶剤作業主任者	1 名
安全運転管理者	2 名	産業清掃技能士	4 名
設備管理者	1 名	貯水槽水道衛生管理士	2 名
小型移動式クレーン	3 名	貯水槽清掃作業監督者	3 名
玉掛技能講習	2 名	排水管清掃作業監督者	2 名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	10 名		

6. 事業計画の概要

許可を受けた一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬は、廃棄物処理法に則り適正な処理を
するとともに、浄化槽の点検・清掃、側溝清掃、下水道管渠のカメラ調査・清掃、
補修工事、しゅんせつ工事を適正に行います。

7. 処理実績

収集運搬量 (2019 年度 : 2019 年 7 月 ~ 2020 年 6 月)

単位 トン

収集運搬量	2017 年度	2018 年度	2019 年度
一般廃棄物(ごみ、浄化槽汚泥等)	14,063	14,881	20,487
産業廃棄物 (混合廃棄物)	677	530	519
産業廃棄物 (汚泥)	—	422 m ³	702m ³
段ボール	1,260	1,236	1,285
金属	125	115	92.6
(合計)	16,125	16,762	

建設工事件数

工事名	2017 年度	2018 年度	2019 年度
下水道管渠補修工事	1 件	0 件	0 件

8. 環境への負荷の状況

2019年度 (2019年7月～2020年6月)

		単位	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	332,618	332,618	313,819
エネルギー使用量	購入電力	kWh	29,175	28,270	27,845
		kg-CO ₂	15,316	14,842	12,864
	軽油	ℓ	105,579	103,603	99,421
		kg-CO ₂	277,075	271,889	260,915
	ガソリン	ℓ	17,064	17,364	17,055
		kg-CO ₂	39,617	40,313	39,596
	LPG	Kg	203	164	148
受託した収集運搬量	産業廃棄物	t	677	539	519
		m ³	—	422	702
	一般廃棄物	t	14,063	14,881	20,487
自社活動からの廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	t	0.24	0.24	0.24
	うち再資源化等量	t	0.1	0.1	0.1
水資源投入量	水使用量	m ³	1,680	1,931	1,699
物質使用量	資源使用量	t	4.1	5.83	4.87
化学物質使用量	(PRTR 制度対象物質)	t	0	0	0



< 購入電力の二酸化炭素排出係数 >

購入電力の二酸化炭素排出係数は、

- ・ 2017年度、2018年度は平成25年12月公表 東京電力(株)の平成24年度実排出係数 0.525 kg-CO₂/kWh を使用。
- ・ 2019年度は、平成30年12月公表 東京電力エネルギーパートナーの平成29年度調整後排出係数 0.462 kg-CO₂/kWh を使用。

< 浄化槽消毒剤 >

浄化槽消毒剤は、PRTR 制度対象品でないため、その使用量は物質使用量欄に記載。

9. 廃棄物処理料金

個別見積による(見積料は無料)。

10. 環境目標、環境活動とその実績

中長期目標

期間：7月～6月

環境目標	単位	基準値 (2017年度 実績値)	目標値		
			2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂ /年	332,618	330,000 以下	325,700 以下	313,000 以下
電気使用量の削減	kWh/年	29,175	30,000 以下	29,500 以下	27,600 以下
軽油使用車両の燃費向上	Km/ℓ	3.93	3.9 以上	3.9 以上	3.9 以上
浄化槽汚泥収集運搬量の増加	t/年	12,106	12,000 以上	12,000 以上	12,600 以上
金属くずの回収量の増加	t/年	124.5	84 以上	99.6 以上	96 以上
事務所の上水使用量の削減	m ³ /年	698	702 以下	720 以下	708 以下
浄化槽保守点検新規契約 受注件数増加	件/年	231	240 以上	240 以上	290 以上
側溝・排水管・下水道管渠 清掃、TVカメラ調査 件数増加	件/年	12	10 以上	10 以上	10 以上
グリーン購入の推進	%	100	優先購入 (100)	優先購入 (100)	優先購入 (100)
化学物質の管理	—	—	保管管理、 施錠	保管管理、 施錠	保管管理、 施錠

- ・ 2020年7月20日に2019年度実績値及び今後の見通しから2019年度、2020年度目標値を見直した。
- ・ 浄化槽消毒剤は、PRTR制度対象品でないため削減目標値は設定しないが、環境活動として浄化槽消毒剤置き場の管理、施錠を行う。
- ・ グリーン購入の対象は事務用品であるが、主なものはOA用紙であり、環境活動として環境配慮商品を優先購入する。
- ・ 2018年度は、購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力(株)の排出係数平成25年12月公表の平成24年度実排出係数 0.525 kg-CO₂/kWh を使用していたが、2019年度から平成30年12月公表の東京電力エナジーパートナー(株)の二酸化炭素排出係数平成29年度調整後排出係数 0.462 kg-CO₂/kWh に変更した。
- ・ 二酸化炭素排出量の削減は、浄化槽汚泥収集運搬量、金属くず回収量の増加を目標としており収集運搬量が増加すれば、収集運搬車両の軽油使用量が増加する。
このため削減目標値は参考値とするが、電気使用量及び軽油使用量の削減活動により二酸化炭素排出量の増加を抑える活動を実施する。

2019年度環境目標及び活動の結果

2019年度(2019年7月～2020年6月)

環境目標	2019年度目標	2019年度累積実績	評価
二酸化炭素排出量の削減	325,700 kg-CO ₂ /年以下	313,819 kg-CO ₂ /年	○
電気使用量の削減	29,500 kWh/年以下	27,845 kWh/年	○
軽油使用車両燃費の向上	3.9 km/ℓ以上	3.88 km/ℓ	×
浄化槽汚泥収集運搬量の増加	12,000 t/年以上	12,294 t/年	○
金属くず回収量の増加	99.6 t/年以上	92.6 t/年	×
事務所の上水使用量の削減	720 m ³ /年以下	596 m ³ /年	○
浄化槽点検新規契約件数の拡大	240 件/年以上	290 件/年	○

側溝・排水管・下水道管渠清掃 下水道管渠 TV カメラ調査 受注件数の拡大	10 件/年以上	12 件/年	○
グリーン購入の推進 環境配慮商品の優先購入	環境配慮商品の優先購入	環境配慮商品の 優先購入実施	○
化学物質の管理 化学物質置き場の管理及び施錠	浄化槽消毒剤置き場の 管理、施錠	置き場の管理、 施錠の実施	○

- 1) 電気、燃料使用による年間累計二酸化炭素排出量は、目標値は達成した。
2018 年度実績 327,537 kg-CO₂/年に比べ若干減少した。
次年度も電気使用量、軽油使用量の削減に努め、増加量を抑える活動を実施する。
 - 2) 軽油使用車両の燃費は、2019 年度は目標値未達成となった。
燃費はほぼ横ばい状況であるが、次年度も目標として継続する。
 - 3) 事務所の上水使用量は、節水に努めた。2019 年度目標値は達成。
今後も洗車時の節水等で、使用量削減に努める。
 - 4) 浄化槽保守点検契約件数は、2019 年度目標値達成。
下水道への切替えて浄化槽点検新規受注件数は減少すると思われる。
次年度も浄化槽保守点検契約件数拡大の営業活動は継続する
 - 5) 環境配慮商品の優先購入と浄化槽消毒剤の置き場管理の施錠は実施した。
次年度も環境活動として今後も取り組むこととする。
 - 6) 廃棄物排出量削減は、実績が 0.24 t/年であり、自社廃棄物が少ないため、
削減目標値は設定しないが、削減に努める。
- 注) 2019 年度は、購入電力の二酸化炭素排出係数は、平成 30 年 12 月 27 日公表の
東京電力エナジーパートナー (株) の調整後排出係数 平成 29 年度実績調整後
排出係数 0.462 kg-CO₂/kWh を使用。

11. 環境活動計画の内容と取組結果の評価及び次年度取組内容

2019 年度 (2019 年 7 月～2020 年 6 月) 環境活動計画の内容と取組み結果評価及び次年度取組み内容

環境経営目標・環境経営活動計画	評価	取組結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減		前年度比 4.2 %減	
電気使用量の削減	○	目標値達成 前年度比 1.5 %減	継続して使用量削減に取り組む。
燃料使用量の削減	○	目標値達成 前年度比 1.4%減	燃費向上活動に取り組む。
電気使用量の削減		前年度比 1.5 %減	
照明節電	○	不在の部屋の消灯実施。	不要箇所の消灯を今後も徹底。
エアコン温度適正設定の 徹底	○	室温が適正温度になるよう 徹底し運転。	今後も適正温度設定を継続。
残業時間の短縮	○	残業時間減少	仕事効率化に取り組む。
軽油使用量の削減		前年度比 4.0 %減	
エコドライブ・アイドリングス トップの徹底	○	実施している。	朝礼でエコドライブ、アイドリン グストップ実施を依頼。
作業時の空運転の削減	○	不必要時はエンジン停止を 実施。	今後も継続する。
低燃費車への更新	—	更新なし	今後も車両老朽化を観て更新する。
リサイクル量拡大		金属くず 前年比 19.5 %減 浄化槽汚泥収集運搬量 前年比 4.1 %減	
浄化槽汚泥収集運搬量を 増やすため浄化槽新規顧客開 拓	○	汚泥収集運搬量目標値達成。 新規契約件数も増加	受注営業活動は今後も継続する。
金属類のリサイクル推進のため 排出先への分別徹底啓発	○	金属を再資源化するため 分別実施をお願いした。	今後も排出先に分別徹底を依頼す る。

	金属類の回収量を増やすため新規顧客の開拓	○	新規顧客獲得営業活動実施	新規顧客の開拓は今後も継続する。
上水使用量の削減		前年比 25 %減		
	洗車、洗濯時の水使用量削減	△	清潔感を出すため洗車。ただし節水に努めた。	今後も清潔感を出すことを優先する。(使用量増加)
	節水意識教育	○	朝礼で節水依頼。	節水活動は今後も継続する。
浄化槽保守点検契約件数の拡大		前年度比 1.8 %増加		
	受注営業活動の推進	○	2018年度は増加	受注営業活動は今後も継続する。
	新築先に浄化槽点検情報の提供	○	新築宅訪問で浄化槽管理の必要性を説明。新規受注活動を実施。	今後も継続する。
側溝・排水路・下水道管渠清掃、下水道管渠 TV カメラ調査件数の拡大		前年度比 20 %増加		
	官公庁への受注営業活動の強化	○	件数は減少したが目標値は達成。	受注営業活動は今後も継続する。
化学物質の管理				
	化学物質置き場の施錠等保管管理の徹底	○	浄化槽消毒剤置き場の整理、施錠実施。	今後も継続する。
グリーン購入の推進				
	環境配慮商品の優先購入	○	OA用紙は環境配慮商品を購入。	今後も継続する。
事務所からの廃棄物削減		○	年間排出量は 240kg で少量のため削減目標値を設定せず削減活動を実施。	今後も削減活動を継続する。
	OA用紙使用量削減	○	電子化によるOA用紙使用量削減活動実施。	今後も削減活動を継続する。
	OA用紙裏面有効利用	○	OA用紙の裏紙使用による廃紙発生量削減活動実施。	今後も削減活動を継続する。

評価： ○：実施しており成果も出ている
△：活動はしているが、成果がまだ十分でない。又は目標値未達成。
×：なにもされていない

【社長の評価】 ・水使用量は減少しているが、今後も車両洗車、洗濯時の節水を徹底させること。

12. 社長の全体の評価及び見直し

社長による評価

2019年度の活動結果の報告を受けたが、今後も継続して目標値達成に向けて活動すること。
浄化槽新規契約件数は、浄化槽汚泥収集運搬量を確保するため、今後も継続して新規契約獲得に努めること。
次回審査で、ガイドライン 2017年版移行審査を受審すること。

見直し結果からの社長指示 (アウトプット)

- 環境方針の変更の必要性
変更の必要はない。ただし、表題を「環境方針」から「環境経営方針」に変更すること。
- 環境目標、環境活動計画の変更の必要性
 - 2019年度実績及び今後の見通しを基に、2020年度目標値を見直すこと。
 - 今後も継続して目標値達成にむけて活動すること。
 - 2019年度から購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)の二酸化炭素排出係数 調整後排出係数 0.462 kg-CO2/kWhに変更すること。
- その他、環境経営システムの変更の必要性
ガイドライン 2017年版改訂に合わせ見直すこと。
- 実施体制変更の必要性
人、モノ、金体制はそろっており変更の必要なし。

13. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2020年6月に環境関係法規等の遵守状況を確認した結果、環境関係法規等への違反はない。なお、過去3年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また近接住民、利害関係者からの苦情、訴訟等もない。

主な適用を受ける環境関連法規

浄化槽法	保守点検業者の登録、浄化槽管理士確保、 標識の掲示、清掃業の許可、帳簿管理、	OK
建設物における衛生的環境の 確保に関する法	貯水槽・排水管清掃業登録、清掃作業監督者確保	OK
廃棄物処理法	マニフェスト管理、委託契約書管理、帳簿管理、 収集運搬業許可証管理	OK
道路運送車両法	整備管理者の選任	OK
貨物自動車運送事業法	運行管理者の選任、アルコールチェック	OK
道路交通法	安全運転管理者の選任	OK
酸素欠乏症等防止規則	酸素欠乏症危険作業主任者確保	OK
建設業法	建設業の許可	OK
フロン排出抑制法	第1種特定製品の3か月ごとの簡易点検の実施	OK

14 . 社会貢献

- ・ペットボトルのキャップを集め、海外の恵まれない子供にワクチンを届ける
NPO ボランティア活動に取り組んでいる。今後この活動を拡大していきたい。
- ・事務所周辺の道路清掃の実施。